

Q11：下北地域特有の体験談・エピソード・都市伝説等があればお答えください。
 (自由回答)

No.	回答
1	初めて恐山へ行った時、靈感の強い(自称)の友人が卒倒してしまい、それ以後近づくことが出来ていません。
2	下北へ向かう電車の中で、同席したおばあさんにべこもちをいただいたこと。
3	ヤマセがきつい。5月ころ行ったことがあるが、体調を崩してしまった。暮らすにはきつい場所だと思った。
4	大間へ行った際には地元の方に駐車場所について厳しく注意されました。また、釜臥山でも同様のことがあり、他の地域にはない他者に対する厳しい視線が気になりました。知人も同様の体験をしたそうで、イメージダウンの原因の一つと思われます。
5	原発補助金で大判ふるまい
6	横浜町の大渋滞に巻き込まれましたが、たまたま家に帰ることができました。後でニュースを見ると、町民の皆さんが食事を配ったなどの話を聞くと、人情の厚さを感じます。
7	雪の量が少なく、殆ど雪かきをしないで済んだ。
8	複数の友人が恐山観光後にそれぞれ不思議な体験をしている。
9	井上靖の海峡の舞台
10	下北に2年間住んでいました。職場の桜の木にカモシカが来て、びっくりしました。また、横断歩道を渡るカモシカを見たこともあります。
11	・カモシカが普通にいる。・天気が良いと北海道の対岸が見える。
12	以前、恐山を舞台に野外演劇が催されたことがありました。シェークスピアに題材を採った演目でしたが、ロケーションがそのお芝居にピッタリで面白かったです。
13	「仏が浦の石を持ち帰ったらいけない。」と言われている。足底も確認して帰る。
14	寒立馬に触ることができる。
15	昔、横浜町に駱駝が居た。
16	お祝い事で踊り、歌った人におひねりを上げる風習があり、けさまい、あがさまい、と人情味が熱い。
17	恐山は中々興味深い所です。
18	ミスおしまこ
19	下北へ行く途中の菜の花畑がきれいでした。
20	川内町に二年ほど住んでいました。今でもニュースになったりすると、思い出します。
21	午後8時に仏ヶ浦に行ったときは不気味だった。
22	日の出は見れたが、その時間にはマグロが食べられないと、知らなかった。
23	盆踊り

24	下北に旅行に行った時、あまりに自然が豊富(緑が豊か)でドライブしていても景色が変わらず飽きた。道路も山を上ったり、下ったりするばかりで、カーナビはグルグル回ってばかり。目的地まで遠かった。
25	大湊の妖怪屋敷。館長さんの名前忘れたけど、あれは物凄いマニアック。
26	尻屋崎で食べたウニ丼のうに一個一個の粒がものすごく大きくてびっくりした。岸壁で濃み底を見るとウニが敷き詰められたように見えた。
27	道が狭くてバスなどが来ると怖いです。
28	下北汽船のモニターに参加した時があり、むつと九艘泊に行きましたが、人が居なく観るところもこれと言ってありませんでした。
29	恐山にはなんかありそうですね！ 混浴露天風呂に入ったのがよいけいけんです。
30	夜恐山に行ったときに、幽霊を見たとか見ないとか・・・
31	恐山のいたこさん
32	サンダルで仏ヶ浦に行き、岩の間にいる生き物を観察したり、海を見ていたら、何十箇所も虫に刺され、いまだかつてない程の痒みに襲われました。
33	2年間、中央二丁目に住んでいました。比較的開発が進んだ住宅地と思っていましたが、居住建物の前をゆっくりと歩を進めるかなり大きな動物(カモシカ)を目にしたときは、腰が抜けるほど驚き恐怖を感じたことを覚えています。長女(当時は3年生くらい)も驚きのあまり声を出して泣いていました。図書館や合同庁舎付近でも見かけたりしました。置物のように微動だにしないものも見たことがあります。カモシカは滅多に人を襲わないとはいえ、このような恐怖を体験できるのは、下北くらいだと思います。
34	海上自衛官は大湊勤務で3度泣く こんな辺鄙なところにきてしまった...で一度目 人情にふれ...で二度目 転勤で大湊を離れがたく...で三度目
35	団体で奥薬研の森林鉄道を見学していたとき、軌道跡に続く真っ暗なトンネルから数羽の蝙蝠が突如、飛び出してきました。あの時は驚嘆しました。 一人では、怖くてあのトンネルは通り抜けられないと思います。
36	恐山の湖の青さにほれた。
37	十数年前、下風呂温泉に宿泊した時に宿で出してくれた夕食がとても美味しかった記憶があります。宿泊した翌日、定期バスに乗り遅れたら、宿の方がタクシーを呼んでくれて、タクシーの運転手さんがバスを追いかけてくれて、バスに合図を送り、停留所でもない場所でバスが停まってくれました。タクシーとバスの運転手さんには本当に感謝しました。親切な方達に救われた思いでした。
38	青森県内の政治経済は斗南藩士の末裔が牛耳っていて、強い影響力を持っている。
39	夏のウニはおいしかった記憶があります。
40	昔未舗装の国道をバイクで走り、砂埃だらけになって大変でした。
41	薬研温泉の魅力をもっともっと引き出して欲しい。昔は結構魅力的だった。

42	大間のマクロ釣りの船にカメラマンを乗せると釣れない
43	自然がいっぱいあっていいな
44	尻屋崎手前の岩屋あたりには石灰岩の採石場があり、なんとも言われぬ景観。漁業、採石と、自然と共に生きているような地域。研究のためにその地域に行くことがあると、都市部に比べて利便性がないため、縛られるものがなく、開放的な気分が味わえる。まるでリタイアした人たちが農村で第2の人生を過ごすような感覚だと思われる。
45	津軽と下北で方言が違って意思の疎通ができない、
46	4号線冷水辺りに親子のアレが出る・・・という話を伺いました。モノズキなもので、暗くなってから(と言っても20時過ぎですが)1人でノコノコ出掛けて行きましたが、出会うことはありませんでした。恐山が近いのでそのような話はそこかしこにあるようですね。 ただ、暗くなってから4号線を走ると路傍の観音様がヘッドライトに浮かび上がって、思わず声を上げてしまいそうになります。恐山は風光明媚な処ですが、夜間はまったく別の顔を見せてくれるので何度通っても飽きることはありません。
47	恐山の宿坊に泊まった時、精進料理を食べる前に念仏を唱える坊主がかなりの肥満で、精進料理とのギャップが激しかったこと。一緒に行った仲間内でその坊主に「ビッグマック」というあだ名をつけた。
48	仏が浦の遊覧船の船長さんが親切だった
49	おそれざんと、男根の話し？
50	斗南藩についてもっと知りたい。
51	地元の人との繋がりが深い。よそ者は入れない？入れない感じ。
52	以前むつ市内に一泊した際、夕飯をとった居酒屋のおばさんに人情を感じた。屋台風の、雰囲気のある店構えも良かった。
53	薬研界隈を歩いていたら、5メートルほど先の谷にクマが。クマは黙々と何か食べていたので、こっそり逃げた。恐山からの帰りにはカモシカにも遭遇した。
54	早朝に恐山に入山した際、湖の色にびっくりした
55	大間に行ってみたが飲食店の値段がめちゃくちゃ高い。関東の収入では大丈夫でも県民収入のレベルでは2度と飲食しないほど高いと思う。経営者の感覚を疑う。
56	いたこがいて先祖や亡くなった人といったこをとうして会話が出来るのが不思議な気がする。
57	下風呂温泉に泊まり恐山と大間のマグロを楽しみに計画していた旅行が仕事の都合で行けなくなり、その後実現する機会に恵まれていない。猫と同宿できる施設も制限ができてしまって現時点では難しいかも。それがとても残念。
58	むつの吉田ベーカリーでアンバターサンドを注文したときに、焼いて、3枚で耳をカット、2つ切り。色々な注文をきいてくれました。
59	恐山で販売している身代わり地蔵のお守りは、本当に守ってくれました。雪で転んで大けがをすところを助けてくれました。
60	うるさい人たちと旅行に行っても、静かになる

61	薬研温泉に行ったとき、かもしかが道路に飛び出してきて、前の車に衝突しました。かもしかはそのまま走って逃げていきましたが、道路の飛び出しは住宅地だけではないんだな、と妙に感心しました。
62	カムイ外伝
63	兄が学生のととき自転車で恐山に行き泊まったときなんでもない日だったのでともだちとふたりしかいず、夜大広間でふとんにはいるとなにか音がするので寝られず宿の人に言うとそれは死者の足音だから気にするなとさりと言われ、かえって眠れず、朝早くに出発した。この話を聞いた私は下北出身の友人ができるまで下北へは泊まることはなかった。下北すべて恐山だとおもってました。
64	大畑薬研に行く途中、昔営林署で造ったという温泉湯坪、川岸にあって知る人はきていたが、いまそれを廃棄してしまったという、行政は理解が欠如してるとつくづく思った。仏が浦には岩をよじ登ってこえたところに大聖堂にはいったみたいなの岩で囲まれた空間ある。地蔵があって、そばに泉がわいている。数年に一度そこを参拝し、水を味わっている。川内湯の川温泉がさえなくなったり、大湊城が沢温泉が消滅してしまったのはかえすがえす残念である。また大湊海自入口付近の道すがらばく大な量の水が湧いているところがあった。建築業の家のもちものだが、2年前いったときなくなっていた。これも行政の余計な介入だろうか。行政の横暴はアベシンゾウの独裁志向ならんで許せないところではある。釜臥山から大湊軍港に向かって降りる一直線の道、海自管理だというのが、いまマップにのっていないような気がする。 一般公開したのか、やめてしまったのか。一度走ってみたいと思っている。
65	朝起きたら庭の畑の野菜が食われていて、ヒツメの跡があったこと。クマアナウンス、夜道でクマに気を付ける必要があること。
66	普通に街中でカモシカを見ることができる。
67	恐山、イタコ
68	昭和 50 年頃学生だった自分たち 4 人は東北 1 周旅行と称し後々住むことになる青森にも降り立ち 2 日目恐れ山まで行き、お化けが出るというお風呂(ぬるくて気持ちが悪かった)にはいり血の池という場所にテントをはり1晩中風が強く気持ちが悪くて全員 1 睡もできなかった。日が上ってすぐおまえりをして青森行きのバス停にいったところ 2 時間も時間があつたので近くの御堂で仮眠をしていたら寝過して睦まで歩いた。
69	むつのホテルに泊まった際、地元名物料理を出す飲食店を聞いたが、知らない…と言われた…。名物料理があってもよさそうなのに…
70	県内における下北は、日本における青森県の姿である。(県民の共通認識?)
71	犬を飼ってる家が多い。
72	30 年くらい前に、脇ノ沢の民宿に女房と宿泊した。当初、モーテルに泊まろうと考えていたが、モーテルはなく夜の 8 時過ぎに、やむなく無理にお願いして、やさしい民宿のおかあさんの好意で、なんとか宿泊できた。夕食はなかったが、風呂に入れて、朝食はおいしかった。ありがたい気持ちで一杯です。
73	寒立馬が自分めがけて歩いてきた時は怖かった

74	今年の夏に下北半島一周ドライブに出掛けたが、道の駅は二つしかなくて、土産物もあまりなく、寂しい感じで、仏ヶ浦行ったら、虻がブンブン飛んでいて、怖くて車から降りれなかったし、道路が無いのか、峠越えみたいに山をかなり走って、楽しい思い出が作れなかった……
75	昔、恐山に行った時、入り口で頭が痛くなり、一周してでてきたら治った。
76	新鮮そうで新鮮でない海産物。保存技術の向上を目指して欲しい。
77	・居酒屋で飲んでいると知らない人に友達のように話しかけられる。
78	尻屋岬の寒立馬がかわいい
79	街中でカモシカに会うことができる。
80	以前、下北に住んでいたときに運転していたら猿が普通に道路にいた。また、朝、布団を干そうと思って窓を開けたらカモシカがいた。 都市伝説というか、県職員に伝わる伝説があります。下北に異動となった後に猿、カモシカ、熊の3動物を見かけなければ下北から異動できない。というのは聞いたことがあります。
81	むつ市内まちなかにかもしかが出現する。下風呂温泉にいくと猿が歩いている。
82	飛内旅館
83	おこもりに一度参加させていただいたのが、最高の思い出です。できることならもう1度くらいは参加してみたい。 存在自体がむつ市のミステリースポットであるとびない旅館と経営者の飛内さんとのトークは、濃い体験をしたいかたにはおすすめです。 とびない旅館では、昨年からまいとし「いもすり餅まつり」を開いており、今年は10月11日から。開催内容の詳細は http://ameblo.jp/gan-mm/theme-10083389437.html に。 くりかえしますが「濃い体験」をしたい人にはおすすめです。
84	恐山の石を持って帰るといけなとか、冷水付近で幽霊が出るとか……。 よくクマの目撃情報が放送されてる。(中学校のグラウンドに出たこともありました) あと、町で普通にカモシカが歩いているのを見かけることがある。
85	恐山にまつわる出どころ不明の無責任な幽霊談、〇〇海賊、恐山の地下は妖怪病院
86	住宅地に住んでいるかのように現れるカモシカ。
87	野鳥が好きなので、大阪市立自然史博物館友の会の下北合宿で、当時北海道大学の院生だった平田さんに案内してもらったのに、ケイマフリが見られなくて、とても残念でした
88	田名部祭りを見物に行ったが、相当な夜中までやっているのに驚いた。 見物客から見ればメリハリがないように見えるが、参加する人にとってはそれが楽しいのだろうか。
89	・大畑線が廃止されて久しいが、線路跡地は、現在道路などに代わっている。思うに、その跡地を遊歩道、サイクリングロード等として下北駅から旧大畑駅まで整備し、観光資源としての活用、下北地方の住人の健康増進への活用を提案したいと思います。
90	害のない怪奇現象は割と多い

91	職場の桜の木の芽をカモシカが食べにきたり、職場の屋根で雨宿りしているのをよく目撃する。
92	家にかぎをかけなくてもドロボーに入られない
93	御山に行く
94	東通村猿ヶ森の薬師堂の湧き水は傷が治る
95	初めての忘年会で魚介類が食べれない。と言ったら、30人以上の宴会で、私だけ別メニューを用意してくれました。転勤が決まり、引越業者の都合で3日間は転勤先のアパートから通勤しなければならなくなったのですが、職場の先輩が、長距離通勤は大変だからと、3日間実家に泊めてくれました。3日間、家族のようにかわいがってもらい、下北にずっといたいと思った事を思い出します。
96	住宅地にカモシカが平然といた。(運動公園前と警察署隣) しょっちゅう、熊の目撃情報が防災無線で放送される。 下北交通のバスガイドが小用中、蝮に噛まれて死亡した。
97	運転中に動物に遭遇すること
98	死ねばおやま(恐山)さ行く。
99	恐山で何度か集合写真と撮っているのですが、みな顔つきが良くないんです。 霊のせい？
100	恐山の冷水の幽霊の正体まで噂になっていてびっくりした。
101	だいぶ以前だが、むつに行くたびに同じ店でマツモ鍋を食べていた記憶がある、今はその店もなく食べる機会もないが、湯どおしするとマツモがぱっと鮮やかな緑色に変色し、視覚的・味覚的にも地域の食材として優れていると感じる。マグロやキアッコウなどの魚もあるが、フノリやマツモなどの海藻も、資源として大きなポテンシャルをもっていると感じる。
102	私の職場は、駐車場の門扉の入り口に訪問者をしらせるセンサーのチャイムがあったのですが、チャイムがなくても来訪者が訪ねてこないでセンサーの故障かと思いながら外に出てみるとカモシカが歩いていました。青森から転勤したてのころは、道路でカモシカを見かけるたびに驚いて車を止めたりにしていたのですが、周りの人たちは特に気にするそぶりもみせず、当たり前のようにやり過ごしていたのが不思議でした。その後、アパートの裏でも見かけるようになったり、あまり頻繁に目にするようになったので、私も気にしなくなっていました。その他に下北で見た野生動物は、アナグマ、ニホンザル、ツキノワグマなどです。都市伝説ではまりませんが、恐山に参詣した際に賽の河原でたくさん風車を見かけましたが、同じような場所にありながら勢いよく回っているものと全く動かないものがあり、「回っている風車の場所には霊が来ている」と聞かされ背筋が寒くなりました。
103	冬になると、強風で陸の孤島になる。怖い。
104	サーモン祭りに以前参加した。 とても楽しいイベントで、ぜひまた参加したい！と思った。
105	川内祭りは威勢がいい。
106	かまふせ山に登山したが、かなりきつく感じた。8月上旬の天気も良い土曜日だったのに、登山者に1組しか会わず、人気がない山なのかなと思った。
107	カモシカが駐車場にいて怖かった。

108	夜景(アゲハ蝶)をバックに告白
109	公務員の態度が最悪
110	カモシカが出る。クマ目撃情報の放送がある。
111	大河ドラマで幕末からの会津藩の末路を知って、下北の印象がまた違ってきた。開拓に携わった人々の忍耐強さは、今に引き継がれているのでしょうか。
112	寒立馬を見に行っただけですが、ハマナスラインの道路は洗濯板のようだとされていることを実感しました。かつて、サーキット場が開設されていたとのことですが、当時の遺物を見られました。その周辺には難破船が放置され異様な光景を目の当たりにしたことがあります。
113	カモシカが普通に市内を歩いている。交差点では青信号なってから横断するのを何度か見た。
114	大間へは11月に行ったことがあるが、風の強さは半端ではない。顔が歪んでしまうくらい、強い風が吹いていて、5分として外にいるのは辛く建物の中に入った。こんな厳しい所に住んでいるのだと思った。
115	恐山で写真を撮ると何か写る。恐山から石とか砂とか持ってくると祟る。国道27号線での警察のネズミ捕りにひっかかったある女性が「そこは誰の土地だと思ってるの！」と啖呵を切った(そのパトカーが止まっていたのはその女性の家の土地だった)
116	2000年に本州最北端をめざしました。途中道路が悪くて陸の孤島を感じました。今はドクターヘリがありますが、重病などになったらすぐに病院には行けないなと感じました。
117	生まれ故郷、あり過ぎて書けません。
118	ずっと前、下北の郡部で道がよくわからなくて近くにいた子どもに訊ねたのですが、人懐っこく、目がすぐキラキラして輝いていたのが印象的だった。何かほんわかする場所だなと感じた。
119	佐井村や大間町の林道では猿やカモシカとの遭遇に驚く。市の熊の目撃情報のアナウンスも度々あり本当かなと思うことが度々ありこれって都市伝説？
120	JR 下北駅と赤川駅の間にある海手の煙突等を含む廃屋に得体の知れない人物が住み着いている。
121	県外の人に場所・出身地を説明しやすい。
122	尻屋に行こうとしたが、横浜町の直線道路があまりに退屈で眠くなり、辿りつけなかった。横浜町の道の駅に寄って帰ってきました。今度はJRで行こうと思います。
123	夏季は多いときで1日に2~3回はクマの目撃情報の放送が流れることに非常に驚きました。
124	市街地なのに熊やカモシカがよく出没する。中央交差点で、よく通り過ぎる車に向かって選挙演説しているが、誰も聞いていないし、交差点内で注意力を削がれるので危険だと思う。
125	聞いた話ですが、雪深い真冬のある日、私の友人がスノーモービルで恐山方面を走っていたところ、革靴を履いたスーツ姿の男性が一人歩いていたらしいです……。
126	カモシカが街を歩いている。
127	道路のわきをサルの群れが歩いていた

128	恐山のイメージしか浮かばないです。
129	たこの七つ道具が美味しい。
130	恐山が下北半島にあり、イタコという観光資源を有効に使ってほしい。
131	青森出身の人がいます。下北の手料理をご馳走になったことがありました。けいらんという見た目に可愛い団子を入れた汁物でした。中に餡が入っていましたが醤油汁とこんなにもぴったり合うものかと感心しました。 郷土料理の醍醐味を味わい後々にも残るお料理でした
132	東通の新そば祭りに行った事があります。
133	①大間の西吹付山(シーサイドキャトルパーク)展望台から、北海道を望んだ 観光客が、「大きな河だね?」「まるで北欧の風景だね!」・『しょっぱい川だよ・春・秋には北海道の洗濯物も見えるよ?』こんな会話が成立する 日本雄一の場所です。 ②大間町は「朝焼け・夕焼け・横夜景」が年に2回見える日本雄一の場所です。
134	私が生まれる前に、祖父が恐山に行ったそうです。口寄せを頼んだ様子を何度か母や祖母から聞いたことがあります。
135	津軽半島には何度か行きましたが、下北半島には行ったことがありません。
136	お金がないときはジャムフレンド A へ、財布が温まるとマルハンへ行く。 大間からでもむつ市のパチンコ屋に行く。
137	恐山に路線バスで行った時、恐山に近くなると、なぜかバス乗車中から不思議な感じがしてきたことです。なんというか独特な雰囲気を感じました。
138	約40年以上前、まだ青函連絡船があった頃、青森の十和田出身の友人宅に一晩ご厄介になったことがあります。その時、下北半島の話が出てとても行ってみたい場所だったことが思い出されます。その後、そのままになったままなので機会があればぜひ伺いたい場所の一つです。
139	大間に行った時、サービスでマグロを食べさせてくれた。 尻屋崎で子馬が居た。向こうから近づいて来た。
140	広い地域だけど、ほとんど信号がないから、1日ドライブするといつの間にか1周してしまって、ビックリした。
141	ニホンザル、キジを見れて感動した。山が低い分、空が大きかったのが印象的。また、風車群も風景として壮観。
142	大間から仏ヶ浦を通り、大畑のホテルに向かう途中、お昼を食べたかったので、道の駅に寄ったらなんと「定休日」!道の駅って休みあるんですかあ?びっくり。結局その後食べるところが一箇所もなく、ホテルの晩御飯までお預けでした。
143	冬の風がとても冷たいことに驚きました。
144	日本最大の砂丘
145	いい
146	恐山で怪我をするとなかなか治らない

147	30年近く前に、薬研温泉の露天風呂「カッパの湯」に初冬に出掛けました。まず入る前に、びっしりと緑の苔が生えていることに驚き、雪がチラチラ降る中、ちょっと熱めのお湯がとても気持ちよく、忘れられない思い出です。
148	下北地域の人のおっくろさんが、東京の「下北沢」によく現れる。
149	1.昆布と洗濯物が一緒に干してある。 2.野生動物が身近にいてビックリする。
150	妊婦は恐山に参拝に行かない方が良い。どうしても行かなければならないときはポケットに鏡を入れて行けば良いと聞いたことがある
151	タゴパーティー 小学生の頃、遊ぶところがなかったのでよく浜(海岸)歩きをしていた。その日も10人ぐらいでカニやツブなどを捕って遊んでいたが、磯に大きなタコ(ミズダコ)がいて、自分たちでは捕獲することができなくて、大声で近くにいる大人を呼んで捕ってもらった。タコは足が10本あるので足1本ずつ分けることも考えたが、ためしに漁協にもっていったら買い取ってもらった。そこで現金を手に入れカレーライスを作る食材やジュースを買って「タゴパーティー」を開催した。タゴは売り渡させてありませんでしたけど。
152	夏の夕暮れに佐井に車で出かけた時、海から仏が裏を見たいと思いましたが、遊覧船に間にわなかった。あれは今でも残念 今年は恐山へ出かけたが神秘的な風景がなくなっていた。驚いた、恐山らしさがない。
153	都市伝説って言えるかどうか・・・大畑の赤川地区には「山のアワビ」が生息するって言う噂があるそうです。ほかに・・・恐山のいたこ以上に・・・「むつ市には神様が多いですね？」と都会の人に言われたことがあります。
154	風間浦の海釣公園が大のお気に入りです。土・日しか営業していないのが残念ですが、釣った魚をさばいて持ち帰りできるのもいいですし、その場で料理してくれるのも、他にない魅力です。
155	佐井村のぬいどう食堂のウニ丼は、ウニてんこ盛りで忘れられない。 また、12月に下風呂温泉で忘年会をやった時、猛吹雪の中を車で走り、生きた心地がしなかった。これも後から思い出すと忘れられない思い出だ。
156	親同士が同級生、同僚が親戚、初めて会った人が遠い親戚だったり、親兄弟自分の同窓・・・などのように、なにかしら繋がりがあることがものすごく多い。
157	恐山で不思議な感覚を感じたという話を聞いたことがあります。
158	全部ふっくるめていえば、余は、自分の趣味等が出来ることが、一番の愛着信を持てることが体験である。今のエピソードは、明治維新あたりから、本当の今の下北が作られたようである。
159	練習艦隊が来ると天気が悪くなる
160	10年ほど前、むつへ帰省のため乗った新幹線で、隣のおじさん(70歳前後)と切符の行き先が同じだったこと。 おじさんは毎年釜臥山でスキーをするのが楽しみで、むつに滞在している間はずっとスキー三昧。飽きることはないという。

	ちなみにおじさんは神奈川県横浜出身だそうだが、よく聞いてみると私と同じ大学出身だった。
161	漁師さんが、大漁だったとき、作業を手伝ってくれた人、たまたまそこにいた人に対して魚をくれること。
162	秋になると恐山から硫黄の匂いが街中に漂ってくる。これはなかなか他地域には良くも悪くもないと思う。
163	むつ市脇野沢の沖合にある「鯛島」に伝わる悲恋の伝説を、ぜひ物語に。
164	ちょっと大きめのイベントがあるだけで宿泊施設がいっぱいになってしまう。 むつ市で行われるスポーツ大会なのに、宿泊場所が下風呂温泉になってしまったとか・・・
165	むつ市民のほとんどが釜臥山の高さ 879mを知っている。
166	まちなかでカモシカに遭遇しても特に驚かない。都市部であれば相当高価になるような食材や料理がざらにある。イベントがあっても混雑の程度はたかがしれているため、花火大会などで間近で見たり絶好のポジションを確保したりするのが容易。むつ市から離れてから何年経って帰ってきてても、風景がほとんど変化しないため懐古の慕情を引き起こしやすい。
167	ならたけの事をボリボリという
168	親戚ととらえる範囲がひろすぎる
169	天然記念物のカモシカが家の前を歩く事
170	バス停のパンダの目が動く!!
171	車の運転マナーが悪すぎる。 警察があんまり役にたたない。スピード違反の取り締まりは頑張るけど殺人殺人事件など重大な事件は解決できない。お年寄りが元気だ。
172	毎週のように釣りに行っているけれどれど車を走らせれば、右も左も海??釣りスポットがたくさんある。
173	佐井村牛滝地区に”おこもり”という神社でご飯をひたすら食べる行事があり、若い衆の盛り上がりようが面白い。
174	・自宅となりの畑で祖母とカモシカの2ショットを撮影。
175	尻屋崎で寒立馬を間近で見ることができたこと。自然放牧している馬を手続きなしで見ることができる場所は、全国でもほとんどないと思われる。
176	出勤途中で熊もイノシシもカモシカもサルも見れる。動物園気分。
177	実家のある津軽地方から下北に帰る道のりが長すぎて、車を運転していて腰が痛くなる。
178	お店に行くと、得てして従業員の接客があまり良くないことが多い(愛想がない、敬語が使えない、サービス精神がない、じろじろ見てくる)が、話してみると案外良い人が多かったです。かえって、気を遣わずに店内にいれるので慣れると楽。
179	どこへ行くにも車で長時間運転。腰痛が悪化する。

180	小学校の遠足で恐山まで歩いて行ったこと。
181	正月や祭りに神楽が門付けに回ること。青森出身のため、津軽には無い伝統文化で素晴らしいと思いました。
182	恐山に車で行くと必ず車のどこかが壊れます。じぶんのみがわりなのだろうか。
183	青森市や八戸市まで大体2時間くらいかかるが、昔からそれが当たり前のなので、あまり苦にならない人が多い気がします。
184	下北人の気質のひとつとして、なんとかなるだろう、なんとかしてくれるだろう、誰かが考えてくれるだろうと思っているような人が少なくないように感じている。
185	毎月、帰省しているので、特になし。
186	下北地域に転勤になった人は「左遷された」と感じるらしいです。特に県職員。
187	やくざがいる。
188	お金にシビアな人が多い。
189	カモシカが普通に街なかにいる。
190	尻屋岬に寒立馬を見に行った時におとなしく人に慣れていたので、近くで見学し、ふれあえたことが思い出深かった。
191	行ったことがないので体験談はありません。
192	仏ヶ浦のミステリー。川内例大祭の盛り上がり。恐山での不思議体験。尻屋崎の冬の寒立馬の迫力 温泉が安くて豊富
193	野生動物に出会う
194	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務先や住宅街、主要道路でかもしかに会える。 ・尻屋崎の食堂兼売店で販売している馬のぬいぐるみをもってパチンコに行くと勝つ。